

株主の皆様へ

2019年4月期

2018年5月1日～2019年4月30日

 伊藤園
自然が好きです。



目次

- 1 ごあいさつ
- 2 特集 「お~いお茶」平成とともに歩んだ30年
もっと身近な“日本”のお茶へ
- 3 営業の概況
- 5 TOPICS
- 6 会社情報/株式の状況



代表取締役社長
執行役員
本庄 大介

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、伊藤園グループの2019年4月期(2018年5月1日から2019年4月30日まで)の概況をご報告いたします。

当連結会計年度における日本経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられましたが、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続きました。飲料業界におきましては、消費者の根強い節約志向の継続や自然災害の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているのか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

2019年4月期の取組みについて

伊藤園では、「大茶会」「おいしいお茶のいれ方セミナー」などを通じて、季節に応じたおいしいお茶のいれ方、お茶の楽しみ方を提案しております。急須で入れるリーフ製品だけでなく、水でもお湯でもすぐに溶ける粉末タイプなど、手軽にご賞味いただける簡便性製品についても積極的にご提案し、“日本”のお茶の魅力をお伝えしてまいりました。

「お〜いお茶」ブランドでは、新製品として、2018年5月に「お〜いお茶 新緑」を発売いたしました。お茶本来のおいしさやすがすがしい澄んだあまみ、持ち運びしやすいボトルデザインなどの点が女性を中心に大好評いただき、発売約1年で販売本数5,000万本を突破いたしました。また秋冬季においては、電子レンジでの再加温に対応した「お〜いお茶」シリーズを販売するなど、お客様の多様なニーズや飲用シーンに合わせた製品ラインアップを展開しました。この主力ブランド「お〜いお茶」は、2019年2月1日に発売30周年の節目を迎えました。今後も、お茶のリーディングカンパニーとして、「平成」とともに歩んだ「お〜いお茶」が「もっと身近な“日本”のお茶」として愛されるよう、更なる発展を目指し、挑戦し続けてまいります。

その他飲料としては、ノンカフェイン茶系飲料No.1ブランドである「健康ミネラルむぎ茶」は、夏の暑さ対策はもちろんのこと、冬場のミネラル・水分補給など1年を通してご愛飲いただいております。また、コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」は、スペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」で味わうようなおいしさとし

て成長を続けており、今後もお客様の多様な嗜好に沿った展開を行ってまいります。

海外におきましては、和食や抹茶の世界のブームや健康志向の高まりを背景に、米国、中国を中

心に「グローバルブランド」として展開するリーフ製品「ITOEN MATCHA GREEN TEA」や「お〜いお茶」などの積極的な販売を行ってまいりました。

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、タリーズで人気の「ハニーミルクラテ」を豆乳でアレンジした季節限定ドリンク「ミルクィーハニーソイラテ」や、市場でも人気のタピオカのもちもち食感が楽しい季節限定ドリンク「タピオカほうじ茶ラテ」等を発売し、大好評をいただきました。また、季節限定「&TEA ピーチコンフィチュールロイヤルミルクティー」をはじめ、ティービバレッジも好調に推移しました。新規出店も順調に進み、総店舗数は735店舗になりました。引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

今後も、平成の30年間を通じた「お〜いお茶」の感謝をお伝えすると同時に、「令和」という新しい時代とともに“日本”のお茶文化のより一層の発展に貢献し、世界各国のお客様一人ひとりの豊かな生活を支える「世界のティーカンパニー」を目指してまいります。



「お〜お茶」平成とともに歩んだ30年 もっと身近な“日本”のお茶へ

昭和後期、炭酸や果汁、コーヒー飲料などが中心であった時代に、伊藤園は“日本の文化である緑茶を、いつでもどこでもおいしく味わっていただきたい”との想いから、缶入り緑茶を発売しました。

そして平成元年2月1日、今では緑茶飲料No.1ブランドとなった「お〜お茶」を誕生させます。

ここでは、より身近で愛される飲み物として発展してきた「お〜お茶」の歩みをご紹介します。



「お〜お茶」ブランド※1が
ギネス世界記録®に認定

世界販売国数が30カ国を超える「お〜お茶」は、この度その販売実績に対してギネス世界記録に認定されました。

記録名:「ナチュラルヘルシー RTD緑茶飲料(最新年間売り上げ)」
正式英語記録名: Largest NH RTD green tea brand - retail RSP, current
記録対象ブランド:「お〜お茶」ブランド
対象年度:2018年1月~12月
認定数値:\$1,966,800,000(推定)※2

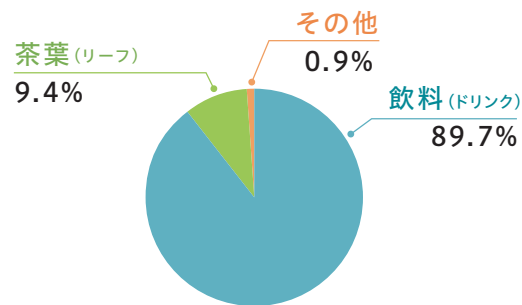
※1「お〜お茶」ほうじ茶製品を除く
※2 第三者のグローバル調査データに基づく

※3 食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられるGAP認証制度には、世界基準である「グローバルGAP」のほか、日本GAP協会が開発する「JGAP」「ASIAGAP」などがあり、ここではこれら3つの認証のうちいずれかを取得した農園を指します。

営業の概況

伊藤園(単独)の売上は、前期比2.9%増の3,944億95百万円となりました。

カテゴリー別の内訳は下記のとおりです。



2019年4月期

飲料(ドリンク)

構成比 **89.7%**
 売上高 **3,539億21百万円**
 前期比 **+2.9%**



茶葉(リーフ)

構成比 **9.4%**
 売上高 **369億69百万円**
 前期比 **+3.6%**



その他

構成比 **0.9%**
 売上高 **36億5百万円**
 前期比 **-1.5%**



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	2018年4月期 2017年5月1日～ 2018年4月30日	2019年4月期 2018年5月1日～ 2019年4月30日	増減率
売上高	494,793	504,153	1.9%
売上原価	260,810	263,778	1.1%
売上総利益	233,983	240,375	2.7%
販売費及び一般管理費	211,939	217,555	2.6%
営業利益	22,043	22,819	3.5%
経常利益	21,441	23,211	8.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,553	14,462	15.2%

POINT 1 売上高

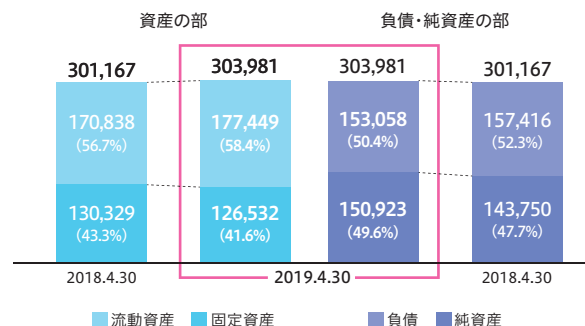
主力商品である茶系飲料やリーフ簡便性製品が好調に推移したほか、各グループ会社での取組みも好調に推移したことにより、当社グループとして初めて5,000億円を突破いたしました。

POINT 2 営業利益

下半期以降、「収益性改善」「ブランド強化」をグループ丸となって取組んだ結果、前期比3.5%増の228億19百万円となりました。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

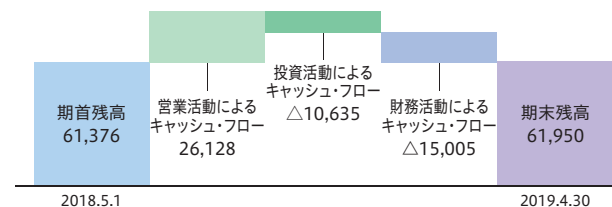


POINT 解説

総資産は、商品及び製品、現金及び預金、工具、器具及び備品などが増加したものの、リース資産、のれんなどが減少し、前期末比28億14百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)



(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

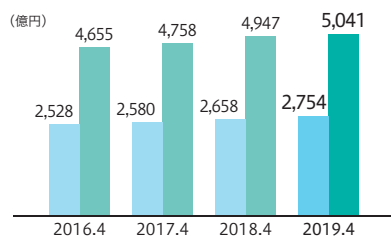
POINT 解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、減価償却費などの増加。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出。財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済、配当金の支払などが主要因です。

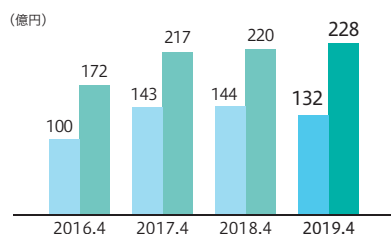
1株当たり配当金

		2017年4月期		2018年4月期		2019年4月期	
		普通株式	優先株式	普通株式	優先株式	普通株式	優先株式
1株当たり配当金(円)	中間	20	25	20	25	20	25
	期末	20	25	20	25	20	25
	年間	40	50	40	50	40	50

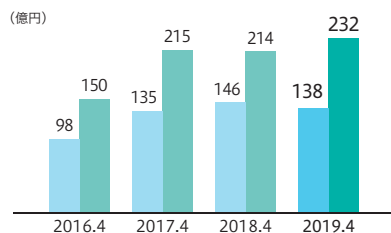
売上高



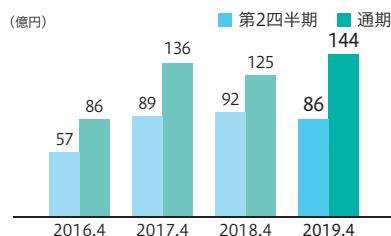
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



「世界のティーカンパニー」に向けて、伊藤園グループ内のシナジーを高めてまいります。

TULLY'S COFFEE

フルーツティーなどの紅茶商品の展開を強化

タリーズコーヒー日本では、長年販売している「ロイヤルミルクティー」へのご支持をいただくなかで、その人気ぶりから、数年前より紅茶商品の展開を強化しています。味わいはもちろん、視覚的にも楽しめる紅茶「フルーツセパレートティー」を2014年に発売して以降、今では紅茶に特化したコンセプトショップ『タリーズコーヒー &TEA (アンドティー)』を全国で6店舗展開(六本木、横浜、京都、博多、大阪、沖縄)。今後も、グループシナジーを発揮した事業展開を行ってまいります。

タリーズコーヒー日本(株)

米国シアトル発祥のスペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」を日本において展開。「地域社会に根ざしたコミュニティーカフェとなる」を理念に、一杯一杯手作りの本格的なコーヒーと寛ぎの空間を提供しています。



左下:2019年3月オープン「タリーズコーヒー &TEA グランフロント大阪南館店」
右下:2019年7月発売「&TEA パッションピーチ&マンゴーティー」(価格:Tall 500円)

CHICHIYASU

チチヤス×SHIBUYA109「IMADA KITCHEN」

この夏、(株)SHIBUYA109エンタテイメント(東京都渋谷区)が手掛ける「渋谷発の名物フード」の開発事業「IMADA KITCHEN」とコラボレーションします!広島県内にあるアンテナショップ「CHICHIYASU」で大人気の「ヨーグルセーキ」を期間限定で販売します。ぜひお越しください。



店名 IMADA KITCHEN
場所 SHIBUYA109地下2階「MOG MOG STAND」内(東京都渋谷区道玄坂2-29-1)
期間 2019年8月8日(木)~9月30日(月)
内容 当企画限定の「ヨーグルセーキ」などを販売

チチヤス(株)

1886年に創業。1917年に日本で初めてのヨーグルト商品を発売しました*。発売までの想いや味わいのこだわりは、今でも変わらずに引き継がれています。
※牧場単位での小規模な製造・販売はあったようです。

OVERSEA

北米でお茶の文化や魅力を発信



急須を使ったおいしいお茶のいれ方や抹茶ラテの作り方などを紹介

2019年3月、北米伊藤園の施設にて日本語クラスの高校生を招いた「お茶セミナー」を開催しました。今後もニューヨークをはじめさまざまなコミュニティにて“日本”のお茶の魅力を積極的に発信してまいります。

海外事業概要

和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、米国や中国を中心に「ITOEN MATCHA GREEN TEA」や「お〜いお茶」ブランドを販売しています。

EVENT

伊藤園健康フォーラム

5月23日(木)、渋谷ヒカリエ(東京都渋谷区)にて「伊藤園健康フォーラム」(主催:伊藤園中央研究所)を開催しました。伊藤園は、お茶を通じて社会課題の解決に貢献し、“豊かに生きる”社会の実現を目指しています。当フォーラムを通じて人々が笑顔で健康な毎日過ごすために、お茶が果たす役割について有識者の方々と議論を交わしました。また、会場内には「見る」「聴く」「触る」「味わう」「嗅ぐ」の五感を使ったお茶の体験コーナーを設け、来場者400名の方々にも楽しんでいただきました。



体験コーナーのひとつ
“抹茶体験”

富士山静岡空港に直営店舗を出店

OPEN

日本一のお茶処静岡の玄関口である富士山静岡空港に、お茶を中心とした日本の“食文化”や“技”を体感いただける直営店舗「伊藤園」を2月6日(水)にオープンしました。インバウンドをターゲットとした、静岡茶をはじめとした日本の“食文化”を取り揃え、また、日本の“技”である急須や南部鉄瓶などのお茶にまつわる工芸品を揃えています。



NEW

「お〜いお茶」100%リサイクルペットボトルへ

緑茶飲料No.1である「お〜いお茶」は、世界の環境負荷軽減への取り組みとして、本年6月より「100%リサイクルペットボトル」の採用を開始し、2030年をめどに「お〜いお茶」ブランドで使用するすべてのペットボトルを「100%リサイクルペットボトル」に切り替えます。使用済みのペットボトルを「資源」として有効利用することで、持続可能な社会・環境の実現に貢献してまいります。



むぎ茶殻リサイクルシステムの確立

伊藤園では、むぎ茶飲料の生産に伴って発生する「むぎ茶殻」を、含水のまま常温保存し、輸送・工業製品に配合する「むぎ茶殻リサイクルシステム」を確立しました。この技術により、プラスチックの代替となる“紙(古紙パルプ)”を再利用した工業製品の原料として活用が可能となり、古紙パルプの使用量削減に貢献することができま。今後とも、環境製品の研究開発に積極的に取り組み、本業を通じた社会貢献活動の輪をより一層広げてまいります。



日本赤十字社から「金色有功章」を受章

きんしよくゆうこうしょう

伊藤園は、「お〜いお茶」の売上の一部を寄付する「絆プロジェクト」や「お茶っこ会」の開催などの被災地支援や、日本赤十字社が取り組む「私たちは、忘れない。」プロジェクトに賛同し、防災・減災の意識向上を目指す取り組みなどの活動を継続的に行って



令和元年度全国赤十字大会における金色有功章受章時の様子

※写真提供:日本赤十字社

います。また2018年3月には日本赤十字社と「パートナーシップ協定」を締結しました。このような取り組みが評価され、日本赤十字社が主催する、「令和元年度全国赤十字大会」において、「金色有功章」を受章しました。今回の受章を励みに、引き続き社会貢献活動を続けてまいります。



就業者のキャリア形成に取り組む企業として『第1回 プラチナキャリア・アワード 優秀賞』を受賞

株式会社東洋経済新報社主催(後援:内閣官房、厚生労働省)の本アワードにおいて、「伊藤園大学・大学院」「ティーテイスター制度」をはじめとする社員のキャリア構築につながる取り組みや、「茶産地育成事業」といった社会貢献への姿勢などが評価され、「優秀賞」を受賞しました。引き続き、社会全体の健全な未来の構築への貢献を目指してまいります。



会社情報 / 株式の状況

◆ 会社の概要 (2019年4月30日現在)

会社名	株式会社 伊藤園
英文社名	ITOEN, LTD.
本社	東京都渋谷区本町3丁目47番10号
設立	昭和41年8月22日
資本金	19,912,300,000円
従業員数	5,409名
URL	https://www.itoen.co.jp
支店、営業所及び出張所	全国30地区198拠点
店舗	全国134店舗
工場	静岡相良工場 (静岡県牧之原市女神21) 神戸工場 (兵庫県神戸市西区見津が丘5-4-2) 浜岡工場 (静岡県御前崎市新野3406-4) 福島工場 (福島県福島市荒井北1-2-9) 沖縄名護工場 (沖縄県名護市伊差川112)
研究所	中央研究所 (静岡県牧之原市女神21)

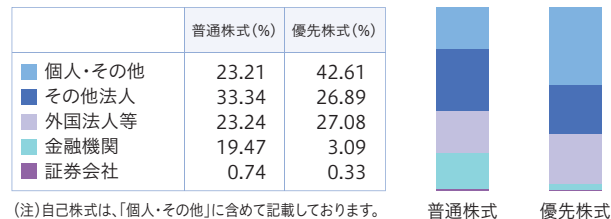
◆ 役員 (2019年7月24日現在)

代表取締役会長	本庄 八郎
代表取締役社長 執行役員	本庄 大介
代表取締役副社長 執行役員	本庄 周介
取締役副会長	橋本 俊治
取締役副社長 執行役員	渡辺 實
取締役 専務執行役員	社 三雄
取締役 専務執行役員	中野 悦久
取締役 専務執行役員	神谷 茂
取締役	ヨソケ ジェイ オーションブライト ホンジョウ Yosuke Jay Oceanbright Honjo
社外取締役	田口 守一
社外取締役	臼井 祐一
社外取締役	田中 豊
常勤監査役	中込 修二
社外監査役	高澤 嘉昭
社外監査役	長澤 正浩
社外監査役	宮嶋 孝

◆ 株式の状況 (2019年4月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	▶普通株式 89,212,380株 ▶優先株式 34,246,962株
株主数	▶普通株式 46,158名 ▶優先株式 60,988名

所有者別株式数比率



大株主

普通株式		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	17,403	19.51
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	7,792	8.74
公益財団法人本庄国際奨学財団	5,200	5.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,479	3.90
本庄八郎	2,446	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,286	2.56
伊藤園従業員持株会	2,204	2.47
東洋製罐グループホールディングス株式会社	1,955	2.19
株式会社りそな銀行	1,933	2.17
ザバンクオブニューヨークメロン(インターナショナル)リミテッド 131800	1,800	2.02

優先株式		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	5,895	17.21
ザバンクオブニューヨーク 134104	3,339	9.75
公益財団法人本庄国際奨学財団	1,560	4.56
株式会社伊藤園 自己名義	1,189	3.47
本庄八郎	882	2.58
ザバンクオブニューヨーク 134105	770	2.25
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505025	770	2.25
FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE	565	1.65
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	551	1.61
エムエルピーエフエス カストディー アカウント	445	1.30

◆ 優先株式について

優先株式とは、普通株式に比べて利益の配当等を優先的に受け取ることができる株式です。

概要

	優先株式	普通株式
証券コード	25935	2593
議決権	なし ^(注1)	あり
配当	優先配当 普通配当額×125% ^(注2) 未払い分は累積	普通配当 累積しない
残余財産分配権	普通株式と同等 ^(注3)	-
普通株式への転換権	株主の意向による転換権はなし ^(注4)	-
単元株	100株	
株主優待	あり	

(注1)議決権が発生する場合があります。

(注2)小数第一位を切り上げ、ただし15円を下限とします。また普通株式への配当が無配の場合でも、優先株式に対して1株当たり15円が優先配当として支払われます。

(注3)累積未払配当がある場合は、普通株式に先立って優先株式に不足分が支払われます。

(注4)一定の事象により当社が普通株式を対価として、1:1の比率で優先株式を取得することがあります。

【一定の事象】

1. 当社が消滅会社となる合併、完全子会社となる株式交換、株式移転(当社単独によるものを除きます)。
2. 当社普通株式に対する公開買付により公開買付者の株券等所有割合が50%超となった場合。
3. 当社優先株式が上場廃止となった場合。

◆ 単元未満株式(1~99株)をご所有の株主様へ

当社では、普通株式・優先株式ともにご所有の株式の買取りの請求、または買増しの請求をしていただくことができる制度を導入しております。単元未満株式をご所有で、株式の売却、または買増しをご検討の株主様は、是非ご利用ください。

- ・ 具体的なお手続きに関するご照会は、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- ・ 特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。(裏表紙参照)

◆ 株式に関する「マイナンバー」制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係手続が必要となります。このため、株主様から、マイナンバーをお取引先の証券会社等へお届出ください。

■ マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先

- ・証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引先の証券会社までお問い合わせください。
- ・証券会社とお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部 ☎0120-782-031

第54回定時株主総会決議ご通知

2019年7月24日開催の当社第54回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第54期(2018年5月1日から2019年4月30日まで)事業報告及び計算書類の報告の件
本件は、上記事業報告及び計算書類の内容を報告いたしました。
- 第54期(2018年5月1日から2019年4月30日まで)連結計算書類の報告ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 資本準備金の額の減少の件

本件は、原案どおり承認可決され、資本準備金20,259,030,000円のうち15,259,030,000円を減少し、その減少額全額をその他資本剰余金に振り替え、減少後の資本準備金の額を5,000,000,000円といたしました。なお、資本準備金の額の減少が効力を生じる日は、2019年9月30日であります。

第2号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金につきましては、普通株式1株につき20円、第1種優先株式1株につき25円と決定いたしました。

第3号議案 取締役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に田中豊氏が新たに選任され就任いたしました。

第4号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査役に中込修二氏及び宮嶋孝氏が新たに選任され就任いたしました。

以上

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、1.証券会社の口座に記録されている場合と、2.特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

1.	証券会社の口座に記録された株式	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
		<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
		<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

2.	特別口座に記録された株式	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
		<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
		<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等のご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	特別口座の口座管理機関	

優待品のご紹介

毎年4月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上を保有している株主の方に対し、年1回、自社製品詰合せを贈呈いたします。普通株式または優先株式のそれぞれの保有株式数に応じ、以下のとおり贈呈いたします。(画像は昨年7月下旬にお送りした優待品です。)

100株以上1,000株未満	1,000株以上
	
1,500円相当	3,000円相当

※なお、株主様には、通信販売パンフレットをお送りいたします。
保有株式数に応じて、掲載商品を優待割引価格にてお求めいただけます。
(注)普通株式と優先株式の2種類の株式を保有している場合には、その合計株式数ではありません。



株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告掲載方法	電子公告により行います。 (URL: https://www.itoen.co.jp) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お問い合わせ先	株式会社伊藤園 財務経理部 財務・IR課 電話 03-5371-7197



表紙・裏表紙には「おーい茶」の茶殻をリサイクルした茶配合紙を使用しています。
本文(2~5ページ)には「森の町内会一問伐に寄与する紙」を使用しています。